

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 多摩市ひまわり教室 保護者数(児童数)28人名 回収数21名 回収率 75%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の活動スペースはよい(2)。</li> <li>・欲を言えば、もう少し広いスペースで活動できるといい。</li> <li>・イベントや行事では広いスペースが欲しい(2)</li> <li>・廊下を簡易的に仕切って(ぶどう部屋)使っている(2)。その部屋での活動は何とも言えない気持ちになる。</li> <li>・定員が増えるなら、個室の増設など設備面の充実が必要。</li> </ul>	<p>制度上では、定員27名の場合の部屋の広さは81㎡(27名×3㎡)とされています。ひまわり教室はクラスの3部屋(合計128㎡)と個別室、2階プレイルームを合わせると230㎡近いスペースがあり、基準の約3倍の広さとなっております。その他、ベランダや広場も設置されており、遊歩道や公園などの社会資源も確保されています。それらの環境を活かし、クラス間で連携しながら、活動や遊びを提供していきます。</p> <p>行事等に関しては、療育の積み重ねを発揮する機会としているため、子どもたちが力を発揮しやすい環境(場)の中で取り組むことを大切にしています。</p>
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	57.1%	38.1%	4.8%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ST、OT、心理は足りていない(3)。</li> <li>STがなかったり、実施回数が少なく、効果があるか不安。</li> <li>・担当が専門職に聞き取り、同じように指導してくれる。</li> <li>・ベテランスタッフや心理と一緒に悩みを分かち合い、解決に導いてくれ、専門性の高さを感じる。</li> <li>・STは他人事のように返される時がある。</li> <li>・専門性は経験年数により差が出るのは致し方ないが、不安を感じる。引き続き講習等で専門性を高めて欲しい。また、力量の補填の意味合いで、補助スタッフの配置を検討するなどしてほしい。</li> <li>・お預かりの始まる時間帯は特に人手が少なく、以前その時間にこどもが大げがをしたことがある。お預かりは親にとっては必須で、減らしたり、なくす方向で検討してはいけない。専門人員を増やしてほしい。既存のスタッフは十分に頑張っている。</li> </ul>	<p>専門職(ST,OT)に関しては、年度途中での退職があり、速やかな人材確保ができず、ご迷惑をおかけいたしました。12月にOTの雇用ができ、専門職は充足いたしました。クラス療育、個別療育、評価等を通して、お子様に必要な療育を検討し、提供していきます。</p> <p>支援スタッフに関しては、法人内外の研修や事業所内の事例検討等に取り組んでおります。また、療育後の振り返りや専門職によるフィードバックを丁寧に実施することで、スタッフのスキルの向上に繋がるため、今後も継続して実施していきます。</p>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	85.7%	9.5%	0.0%	4.8%		<p>引き続き、活動によってレイアウトを変更し、子どもたちが「分かる」空間や取り組みやすい空間を提供していきます。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	76.2%	14.3%	4.7%	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく工夫されているが、活動切り替え時の準備が大変そう。</li> <li>・立ち便器の下が濡れていることがあった。トイレのタイミングをクラスや小グループ毎にし、拭き掃除を入れるときれいになりそう。</li> <li>・髪の毛や米粒などゴミが落ちていることが多い。清潔感はない。</li> <li>・清潔にしてもらっている。</li> <li>・旧小学校をリフォームしているため、療育用に作られた空間ではない。</li> <li>・ベランダでの外遊びは暑さがひどく、今後難しくなるのではないか。夏のプールもスタッフの疲労がひどいように思う。ベランダに日光を遮る常設の屋根が必要ではないか。</li> <li>・広場は樹木などの木陰や多様なスペースを作って、こどもがワクワクする工夫をしてほしい。</li> </ul>	毎日の朝の消毒や降園後の清掃、玩具の消毒に加え、定期的な水拭きを実施します。療育時間中にもすぐに汚れた個所を拭けるように、手洗い場やトイレに雑巾を設置します。ベランダは、暑さ対策として、タープの常設を検討していきます。また、多摩市発達支援室とも暑さ対策を検討していきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	90.5%	4.7%	0.0%	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく評価されている(2)。</li> <li>・丁寧に作成されている(3)。</li> <li>・以前より簡素化され、ここだけはというところのみの計画の印象。もっと丁寧な計画や具体的支援を求めたいところだが、言えない。</li> </ul>	令和6年度より、法人共通のアセスメント表や支援フォーム(保護者のニーズの確認票)、個別支援計画の書式で作成していきます。半期ごとにアセスメント表の作成や保護者の方のニーズの聞き取りを実施することで、よりこどもの発達ニーズや保護者のニーズに沿った個別支援計画の作成を目指します。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	85.7%	0.0%	4.8%	9.5%		ガイドラインの指針をもとに、細かく項目立てをし、その項目に沿ったアセスメントをしています。その上で、子どもの発達ニーズと保護者のニーズから、発達支援に必要な項目を選択し、個別支援計画を作成していますお子様の発達状況や今必要な支援について、細やかに丁寧に伝えるよう心がけています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	90.5%	4.7%	0.0%	4.8%		日々の活動や関わりは、常に個別支援計画に沿って行われています。また、こどもは日々発達をしていくという観点から、今のお子様の状況をきちんと把握し、適切な支援を提供できるよう心がけていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	71.4%	19.0%	0.0%	9.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが少ない中、こどもの凸凹ごとにグループ分けし細かく対応してくれている。</li> </ul>	こどもの発達状況やねらいに合わせて、同じ活動を繰り返し提供することもあります。少しずつ変化させたり、発展させることも意識しています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4.8%	4.7%	85.7%	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣に幼稚園や児童館があるため、交流する機会を作って欲しい(2)。</li> <li>・以前あったのであれば、どのような活動があったのか、なぜなくなったのか、年度初めに説明してほしい。</li> </ul>	学童クラブとの交流や近隣の幼稚園・保育園の地域向けイベントへの参加を検討していきます。また、児童館や図書館などの地域の社会資源も活用していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%		今後も丁寧な説明に努めていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	95.2%	0.0%	4.8%	0.0%		今後もお子様に合わせた個別支援計画を作成し、丁寧に分かりやすく説明してまいります。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	・年に数回、保護者会で勉強会がある(2)。 ・希望制で実施してほしい。	年3回の保護者会での学習会は今後も継続してまいります。また、今年度よりオンブズマン懇談会を実施しています。子育てや福祉サービス、制度などの情報交換等に活用していただければと思います。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%	・まめに面談がある。 ・定期的な面談以外にも、希望があれば時間を作ってくれる。 ・親子参加週間や音楽活動の日など、気軽にスタッフと話せる状況がある。 ・普段は連絡帳の限られたスペースで伝えるしかない。 ・ケガをした日に絆創膏が貼ってあるのみで、報告がなかったことがある。そのケガにお友達関わっていたことを把握できていなかったときは不安を感じた。 ・発達状況は共有してもらえることもあるが、親子参加などで見て初めて知り、こちらから聞いて発覚することもある。事前に知りたいこともあるため、新しい支援を始めるときは都度確認してほしい。また、家でも取り入れたいため、助言が欲しい。	今後も希望面談は継続してまいります。また、親子参加週間や自主での送迎時など、保護者の方と直接やりとりができる機会を大切にしていきます。体調不良時は療育中もしくは療育後に電話での報告もしくはサービス提供記録に記載することを徹底します。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・丁寧に聞いてもらっている。	希望面談や電話、メールでの相談など今後も活用してください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	76.2%	19.0%	0.0%	4.8%	・親子参加で頻りに顔を合わせるため、他の保護者と仲良くなりやすい。 ・保護者会の開催はあるが、保護者同士が話し合う時間はあまりなかった。 ・もう少し増えるといい(2)。 ・保護者会が保護者同士の繋がりを作る場になっているとは言い難い。保護者同士の繋がりは保護者同士でやるしかない。	保護者会での懇談会では、グループワークを取り入れる等、保護者同士の繋がりが持てるように工夫してまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	95.2%	0.0%	0.0%	4.8%	・伝えれば対応してくれる。	保護者からの相談、意見、要望等は文書にて職員間で共有し、検討する体制をとっています。今後も、迅速かつ適切に対応することを心がけていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%		今後も分かりやすく情報を伝えます。また、必要に応じて個別的な配慮も実施していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	85.7%	4.8%	0.0%	9.5%	・毎月のお便りがある。	毎月1回発行している「ひまわりだより」では、活動の様子や行事予定などを発信しています。今後は健康に関するコラムなどを掲載するなど、より充実させていきます。自己評価の結果は毎年2月に法人のHPで公表しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%		多摩市及び法人の個人情報保護規定に則り、対応しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	76.2%	0.0%	9.5%	14.3%		各種マニュアルは完備しています。緊急時の対応や感染症の対応は、実技を交えた研修を実施しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	81.0%	0.0%	0.0%	19.0%		毎月1回の避難訓練及び年1回の引き取り訓練を実施しています。今後も内容を見直しながら継続していきます。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	⑳ 子どもは通所を楽しみにしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・いつも送迎車をワクワクして待っています。	安心して楽しく過ごすことで、子どもたちが力を発揮し、様々なことに取り組み、挑戦していけると考えています。今後も、子どもたちにとって、安心して、満足して、楽しく遊べるサービスの提供に努めます。
	㉑ 事業所の支援に満足しているか	76.2%	19.0%	0.0%	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動に満足している。</li> <li>・概ね満足している(2)</li> <li>・違うクラスのスタッフも声をかけてくれ、明るい雰囲気の施設。</li> <li>・スタッフは明るく、丁寧に接してくれる。</li> <li>・保護者が働きにくい点が改善されるといい。</li> <li>・連絡体制が紙ベースでアナログ。ICT化してほしい。</li> <li>・専門職が少ない(3)。STやOTを受けられていない子どももいる。特にOTは在籍期間中に個別療育をほとんど受けられなかった。</li> <li>・ST、OTに関しては島田療育センターに通えるようにしてほしい。</li> <li>・専門療育は風邪などで休むと振り替えはしてもらえないので、振り替えしてほしい。</li> <li>・並行通園に関して、定員の関係で諦めざるを得なかった年があった。療育時間が遅いため、生活リズムがバラバラになり、それには対応してもらえない。幼稚園の日に個別療育があり、早退しないといけない日もある。</li> <li>・預かり時間が短く、朝の預かりがなく、困ることもある。</li> <li>・送迎バスが遅れ、20分以上外で待つことがあった。連絡はあるが、すでに外で待っているため、遅れている連絡にしかならない。アプリなど導入するなど対策してほしい。また、遅れても謝らないスタッフがいる。</li> </ul>	連絡体制のICT化については、令和6年度に導入を検討しています。今後も子どもたちだけでなく、保護者やご家族の方も安心して利用していただけるよう、専門性の向上に努め、子どもたちの育ちを支えていきたいと思えます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。